

令和4年高山市長選挙 候補者アンケート

東 やすひろ 氏 アンケートのご回答

1) NPOや市民活動団体への期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOや市民活動団体(以下「NPO等」という。)などが自治会と共に活動しています。NPO等について、高山市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

高山市は、他の多くの地方都市同様、人口の減少、しかも少子高齢化の問題を抱えています。人口に占めるお年寄りの割合が多いわけです。しかし、昔に比べると、元気なお年寄りが多い印象を持っています。健康寿命を延ばすことには、福祉医療の負担を軽減する効果が期待されますが、それよりも本人が元気であるのであれば、何らかの社会参加を考える方も多いでしょう。高山市の良いまちづくりを考える上で、それぞれの地域において、元気なお年寄りのパワーを活用することが必要だと思います。NPO等がその場を作ったり、仲立ちをして頂いたりすることを期待いたします。

2) NPOや市民活動団体への活動支援施策について(300字以内)

NPO等の団体も高山市にて、様々な公益的な活動に取り組んでいます。現在、高山市では「市民活動応援指針」を策定し、「高山市市民活動事業補助金」などの活動支援施策を実施しております。今後もNPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

市の活動支援策は必要です。ただし、改善の余地があれば、見直しも必要でしょう。例えば、補助金の申請については、ICTでデジタル化(電子申請)をもっと進めることもできるでしょう。「市役所に行かなくても申請できる」のが理想です。現状、補助制度を3回受けている団体は対象外となっていますが、その経緯も知りたいところです。過去に決まったことを踏襲するだけでなく、あるべき姿を常に考え、それに近づくよう改善してゆくが必要だと思います。

3) NPO や市民活動団体との協働関係の構築について(300 字以内)

高山市の「第八次総合計画 第4章 着実な計画の推進」には、(1)協働と市民参加の推進など、協働関係の構築について書かれています。高山市とNPO等が協働関係を築き、今後もNPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

本来、市政における市民向けの活動と NPO 等が地域コミュニティにおいて行っている活動とは地続きのものであるべきです。市と NPO 等の協働は当然であり、その発展への取り組みは不可欠です。

協働関係を有効に運用するための具体的施策はまだ持ち合わせていませんが、市と NPO 等の間に信頼関係があることがまずは前提です。信頼関係は、相互理解によって生まれます。相互理解には対話が必要です。市と NPO 等が気兼ねなく対話できるような場を設けることが必要だと思っています。

ご協力ありがとうございました。